

報 告 書

開催日時	令和4年1月14日(金) 19時00分 ~ 20時05分		
自治協議会名	河合地域住民自治協議会	開催場所	自治協会議室
出席議員	北山太加視、上田宗久、近森正利、西條エリ子		
	班長	北山 太加視	記録・報告者
参加人数	15 名		

【主な意見・提言等】

< 消防団の在り方と団員の確保 >

- ・どこの自治協も成り手が少ないという意見が多い、所によっては50, 60歳の人も団員になっている様だ。成り手が少なくなれば考えなければいけない。
- ・県外勤務者等で団員が減っている。河合の27名も来年度2名退団する。35歳と年齢を決めて退団される団員がいるが、入ってくれない。
- ・地区では、団員になる人がいない、早晚組織化が出来ない。机上の検討は良いが若い人はいない、住民の半数は老人だ。
- ・若い人が居ても何故入らなければならないのかと言われ、説明からしなければならぬ。
- ・会社勤めで緊急時には駆け付けられない、それでも消防団に入れと言われるのですかと問われ、答えに苦しむ。
- ・友田・玉滝地区は地域で一本化しているのに、河合は集落単位であるので全体で考える時期にある。
- ・有事の際に連絡を取ろうにも職場には携帯が持込み禁止の所もあって、会社へ電話して確認するなど難儀している。
- ・時代が変わって土日勤務の人もある。夜勤もある。出られないから入団しない人もいるので活動の見直しが必要では。
- ・消防署員を増員すれば消防団員が少なくても助かるのでは。
- ・救急出動したら分署には署員は居なくて他から応援となる実態がある。
- ・外国籍の人も地域で暮らす一員として参加してもらえるような手立てが必要では。
- ・ポンプ配置数を減らす話がある。どこを減らすか考えなければならず問題だ。

< 高齢化社会における自主防災の在り方 >

- ・連絡網は地区として毎年更新している
- ・高齢の独居者が多くなっている。把握はしているが、日常の確認は民生委員による訪問くらいしか出来ていない。
- ・コロナもあって防災訓練は出来ずにいる。

< その他 >

- ・セル付き可搬式ポンプの譲渡を申し出たがポンプが無い様だ。
- ・消防阿山分署は何処かへ行くのか？心配だ。
- ・議員の側から、人口の半数は女性であり女性団員（20名）の拡大協力を申し出た。

伊賀市議会議長 様

令和4年1月21日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和3年度地域意見交換会 5 班

班長 北山 太加視